
2020年8月期 第2四半期決算説明

(2019年9月1日～2020年2月29日)

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
代表取締役社長 森下 秀法
(東証2部 6668)

**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によりお亡くなり
になられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹
患されている方々には心よりお見舞い申し上げます。
また、日夜、最前線に対応している医療従事者の皆様、す
べての関係者の皆様に心より敬意を表します。
当社としましても情報収集に努め、必要な対応を迅速に行
って参ります。**

会社概要

商 号	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー		
本 社 所 在 地	広島県福山市引野町五丁目6番10号		
設 立	1985年1月（昭和60年1月）	代 表 者	森下 秀法
資 本 金	835百万円（2020年2月29日現在）		
連 結 子 会 社	Adtec Technology, Inc.（米国）		1996年8月設立
	Adtec Europe Limited（英国）		2000年8月設立
	株式会社 I D X（栃木県）		2004年12月子会社化
	PHUC SON TECHNOLOGY CO.,LTD（ベトナム社会主義共和国）		2011年5月設立
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）		2011年5月設立
	愛笛科技有限公司（台湾）		2014年8月設立
	蘇州啐啄電子有限公司（中国）		2016年4月設立
発 行 済 株 式 数	8,586,000株（2020年2月29日現在）		
従 業 員	連結：374名（2020年2月29日現在）		
	単体：156名（2020年2月29日現在）		

2020年8月期 第2四半期業績概要

業績概要

連結

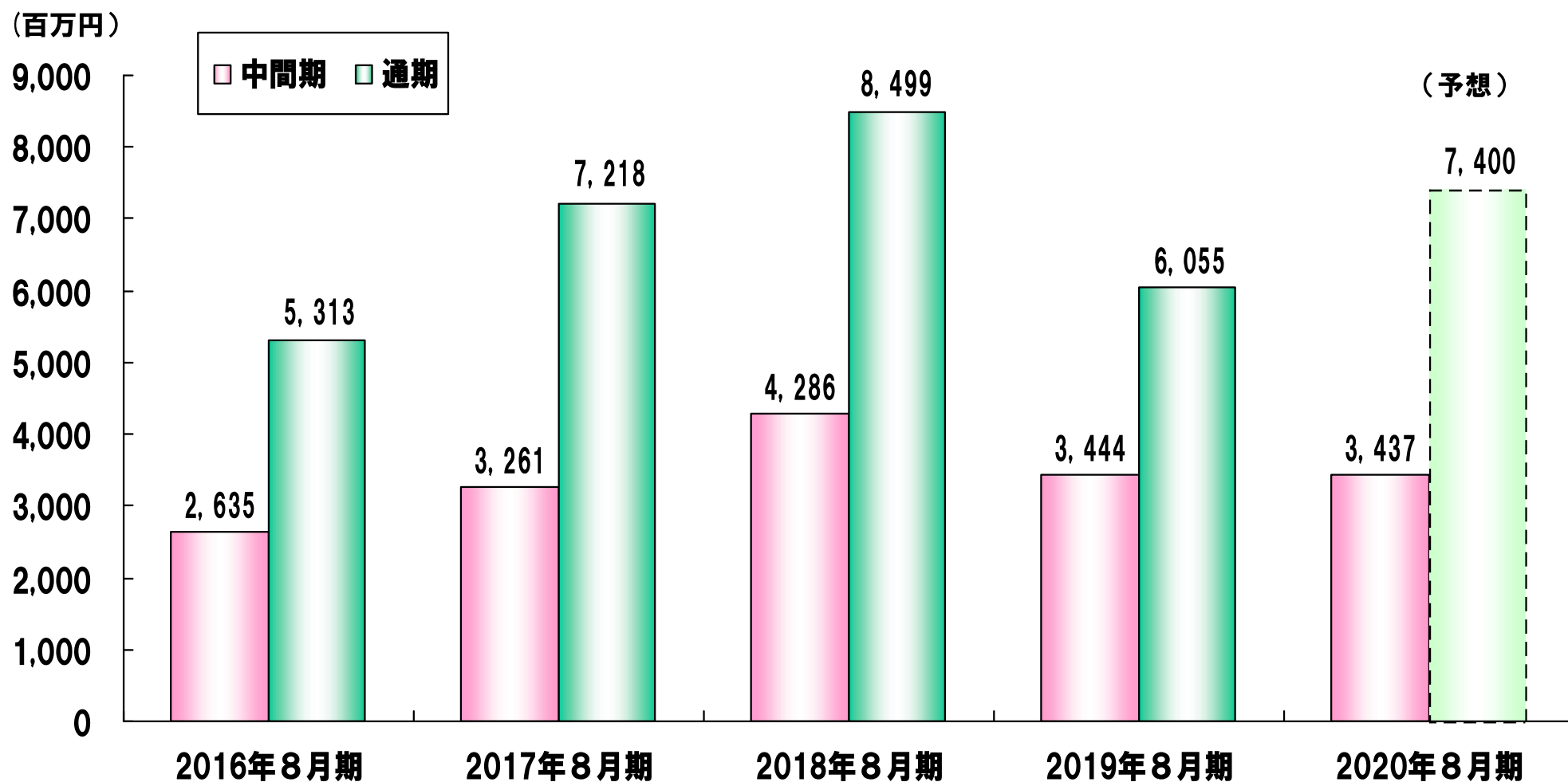
【第2四半期累計期間】

(単位:百万円)

	2019年 8月期 第2四半期	2020年 8月期 第2四半期	前年同期比 増減額 (増減率)	2020年8月期第2四半期 (2020年1月公表)	
				業績予想	増減額 (増減率)
売上高	3,444	3,437	△6 (△0.2%)	3,300	137 (4.2%)
売上総利益	1,290	1,398	107 (8.3%)	—	—
営業利益	490	437	△52 (△10.7%)	480	△42 (△8.8%)
経常利益	504	504	△0 (△0.0%)	530	△25 (△4.9%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	361	368	7 (2.0%)	370	△1 (△0.3%)

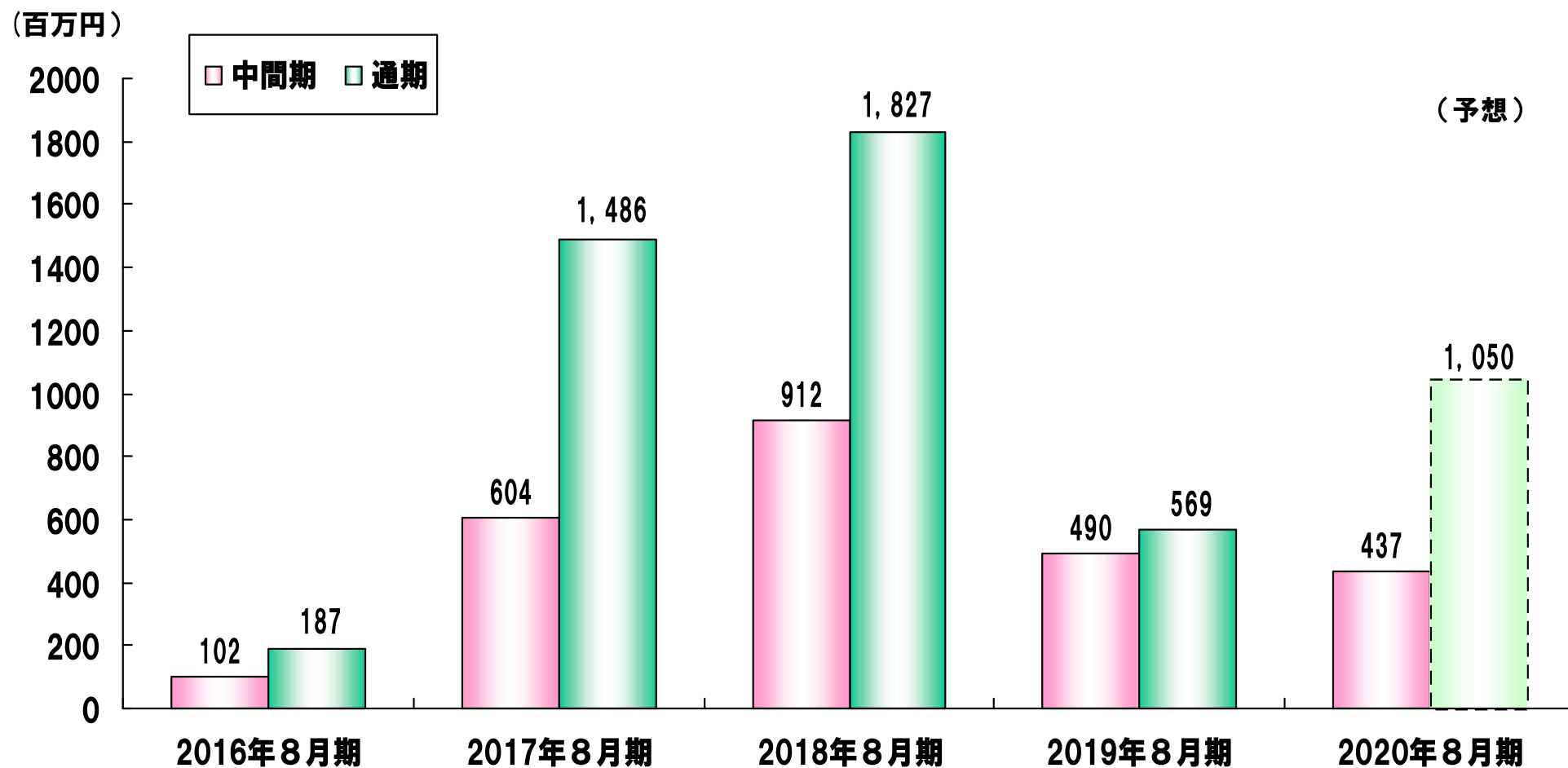
業績概要

売上高推移（連結）



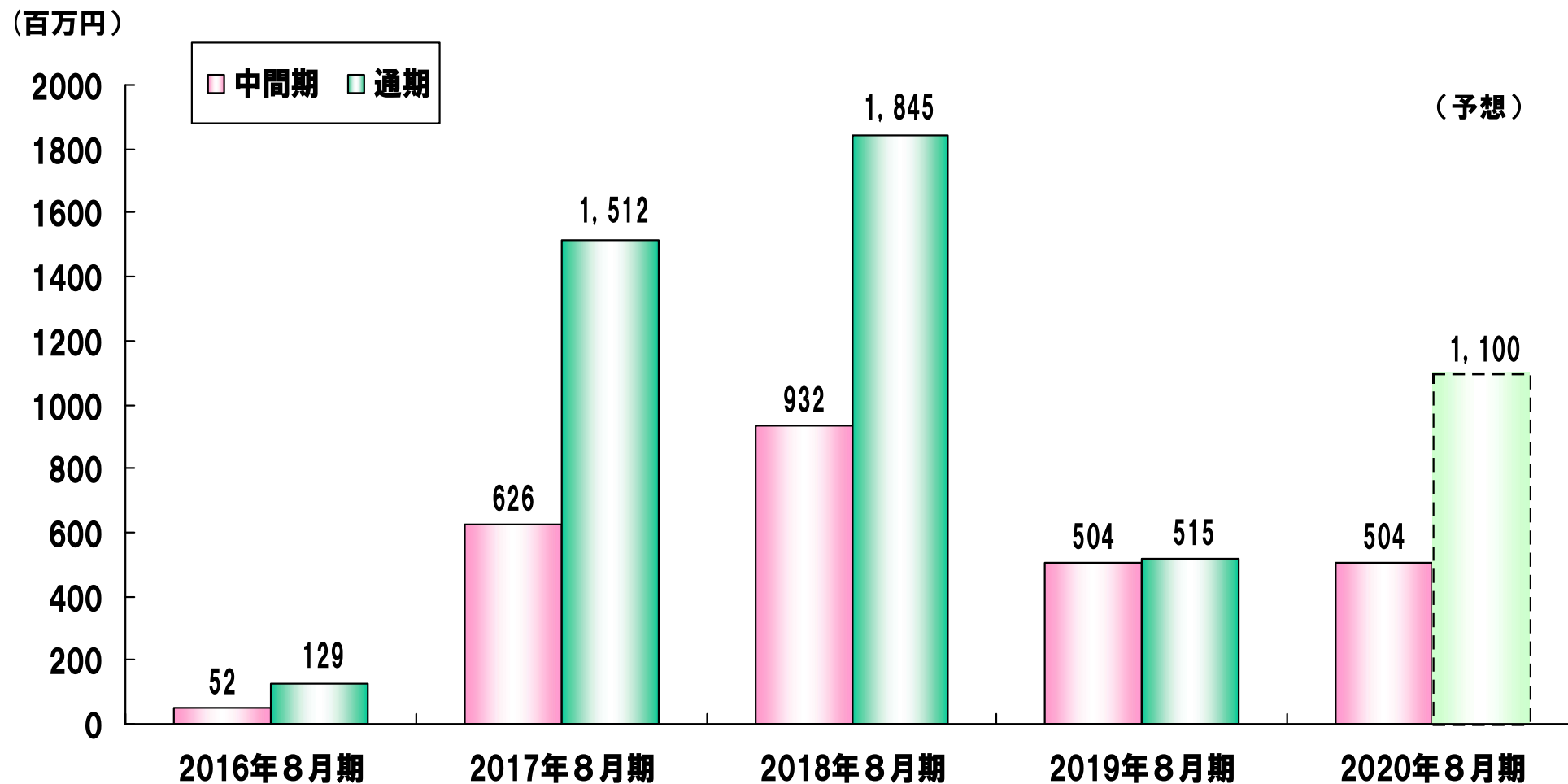
業績概要

営業利益推移（連結）



業績概要

経常利益推移（連結）



業績概要

報告セグメント

セグメントの名称	会社名
半導体・液晶関連事業	株式会社アドテックプラズマテクノロジー（日本）
	Adtec Technology, Inc.（米国）
	Adtec Europe Limited（英国）
	PHUC SON TECHNOLOGY CO.,LTD（ベトナム社会主義共和国）
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）
	愛笛科技有限公司（台湾）
研究機関・大学関連事業	蘇州啐啄電子有限公司（中国）
	株式会社 I D X（日本）

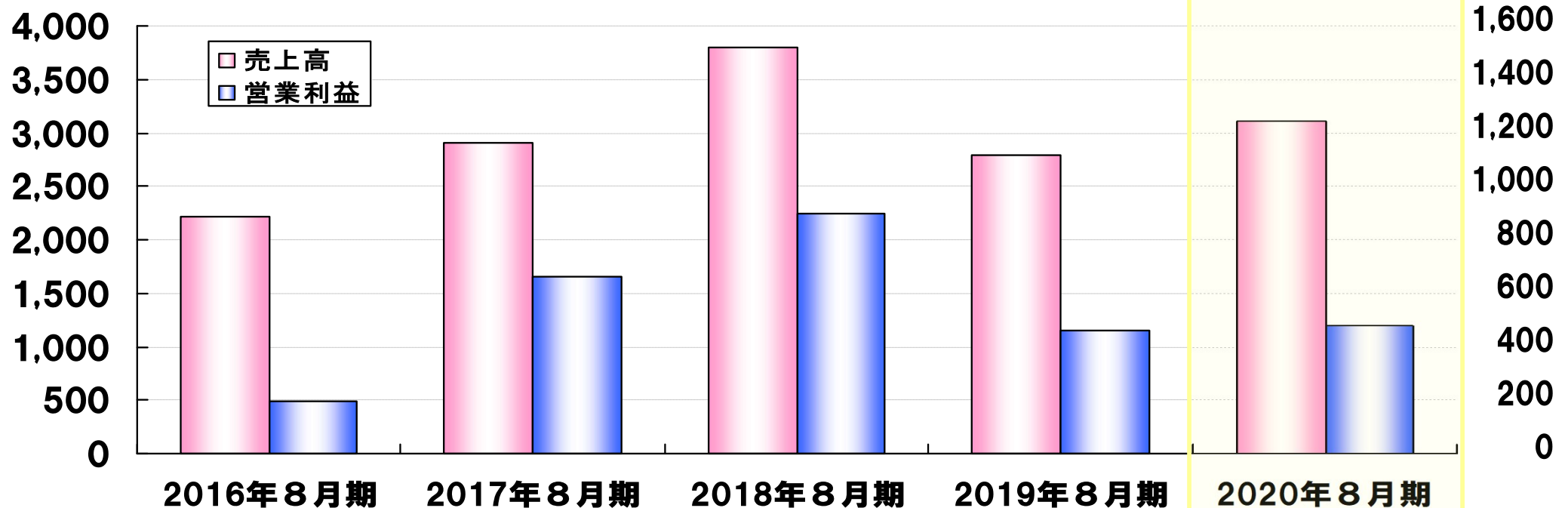
業績概要

半導体・液晶関連事業（中間期）

（単位：百万円）

	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期
売上高	2,212	2,905	3,793	2,796	3,107
営業利益	195	668	896	468	492

売上高

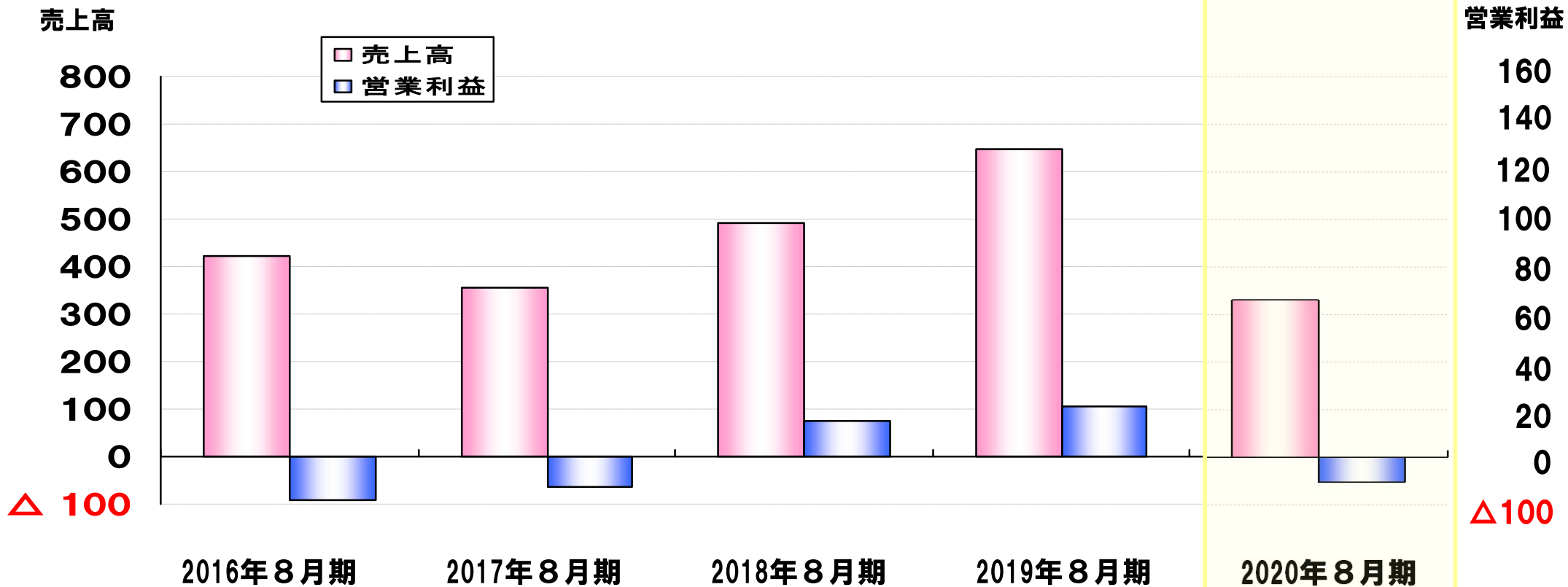


業績概要

研究機関・大学関連事業（中間期）

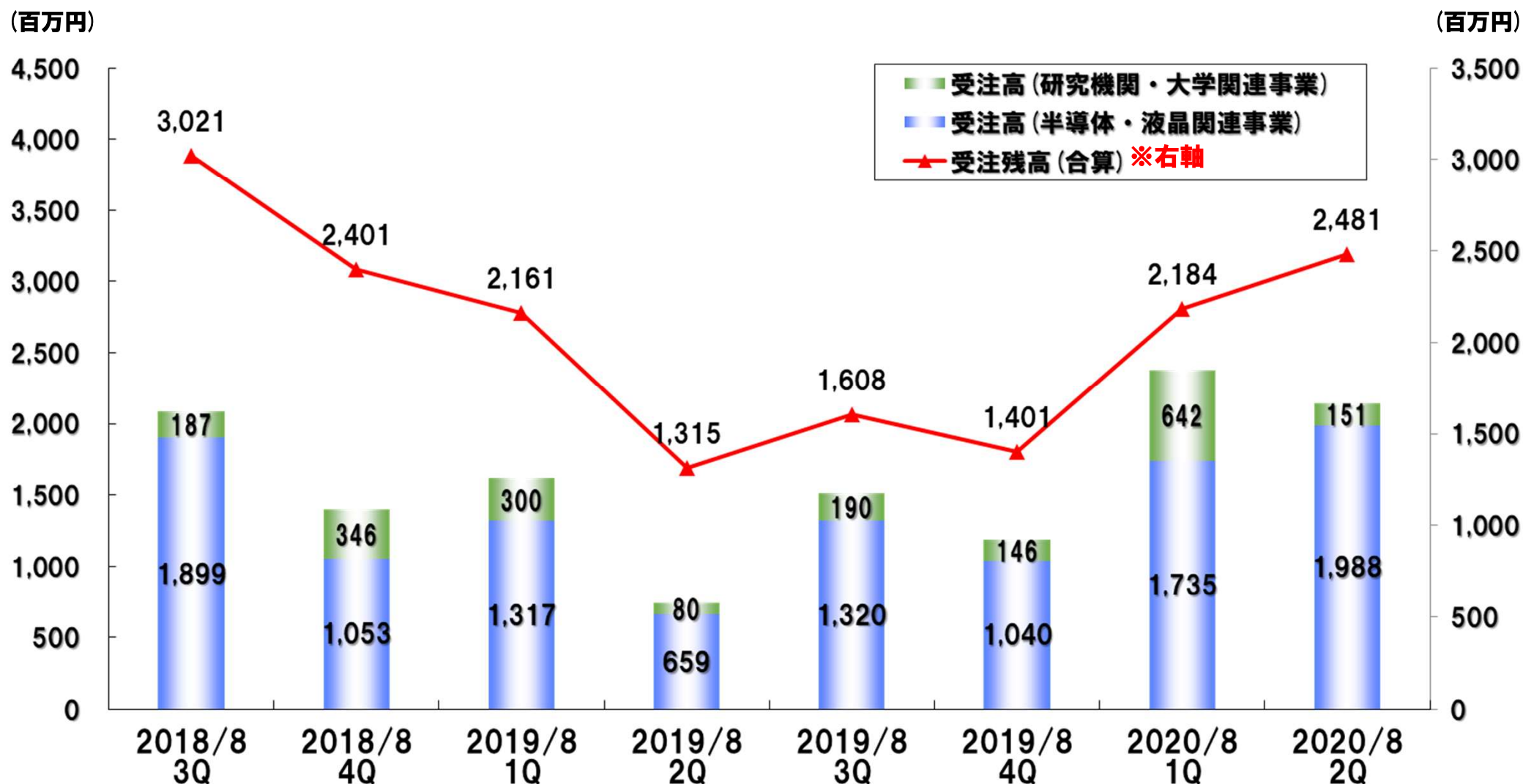
（単位：百万円）

	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期
売上高	422	355	493	647	330
営業利益	△92	△64	15	21	△54



業績概要

受注高・受注残高推移



業績概要

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	2019年8月期 第2四半期	2020年8月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	399	66	△333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24	△284	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	114	△163	△277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	32	48
現金及び現金同等物の増減（△）額	473	△349	△822
現金及び現金同等物の期首残高	1,893	2,619	726
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,366	2,270	△95

新型コロナウイルス感染拡大の影響について

●半導体業界

- ・世界の主な半導体工場は稼働を継続しており、当社取引先の装置メーカーからの需要予測に現状大きな変化は見られない。

●当社グループの稼働状況

- ・当社(広島県)およびIDX(栃木県)については、感染リスク防止策を講じて、業務継続中。
- ・当社の主要製造拠点である「ベトナム」・「韓国」の工場は稼働を継続中。
- ・その他の子会社(米国、英国、中国、台湾)についても、一部、在宅勤務を導入し業務継続中。

●生産に関わる影響

- ・部材の輸送については、航空便の縮小による運送運賃の高騰や一部遅延の発生が見られ、船便も活用し対応中。
- ・今後、一部の部品について納期が長期化する懸念あり。

⇒現在のところ大きな影響はないが、感染拡大の長期化による景気・業界動向の変化を注視している。

2020年8月期 業績予想

業績予想

連結

(単位:百万円)

	2019年 8 月期実績	2020年 8 月期予想	前年比 増減額 (増減率)	備 考
売上高	6,055	7,400	1,345 (22.2%)	【半導体・液晶関連】 ○半導体関連は市況回復に向けた動きを見込む △海外サービス・サポート体制強化による経費増加 △研究開発費の増加 【研究機関・大学関連】 △ビッグサイエンス受注は引き続き減少。 新分野の直流電源市場の開拓でカバー 《今後の取り組み》 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う景気、業界動向の変化に注視 ・海外生産の拡大⇒コスト削減、納期短縮 ・新規市場の開拓⇒スパッタ、センサー市場の開拓 ・海外装置メーカーへの営業活動を強化し海外でのシェアUPを目指す ・グループ連携による製品ラインアップの充実と営業活動の強化
営業利益	569	1,050	481 (84.5%)	
経常利益	515	1,100	585 (113.6%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	352	770	418 (118.8%)	
1株当たり 配当金(年間) (円)	8	8	—	

今後の戦略

今後の経営戦略

半導体・液晶関連事業

ADTEC製品

プラズマ用高周波電源



特長

- 最新CPUを搭載
(高速応答性UP)
- 新通信方式に対応

TXLシリーズ／TXRシリーズ

顧客ニーズに対応した新シリーズ登場

→市場への訴求開始

ADTEC製品

自動インピーダンス整合装置



特長

- ・従来のAMVGシリーズと比べさらに整合動作が安定

顧客ニーズに対応した新シリーズ登場

→市場への訴求開始

今後の経営戦略

ベトナム新工場完成

- ・ 2019年11月 製造ラインがスタート

旧工場と並行生産を行うことにより、生産量を維持しながらスムーズに移管しました。

- ・ 2019年12月 本格稼働スタート

増員を行うなど、生産量の増強に努めています。



新工場全体像

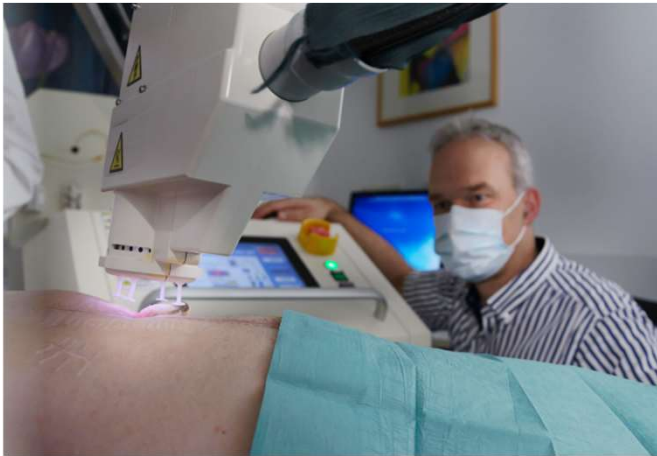


2019年12月 竣工式（鏡割り）



新工場正面玄関

Adtec Healthcare



SteriPlas(ステリプラス)

<特長>

創傷やバイオフィルムの感染症治療に効果。一般用に小型化・軽量化に成功。

※欧州医療機器認証CEマーク認証

【トピックス】

- ・ 2020年にスロバキアで開催される糖尿病性足病変の研究グループカンファレンスへ出展が決定
- ・ 骨髓炎へのバイオフィルムの予防と管理のためのガスプラズマの研究を開始



ガスプラズマ研究の様子

今後の経営戦略

研究機関・大学関連事業

直流電源



バイポーラ電源

製品特長

1. マルチ出力に対応

光学・半導体市場等への販路開拓

高電圧電源



静電チャック電源

製品特長

1. UL準拠、高電圧出力（±10kV）に対応

マイクロ波応用機器



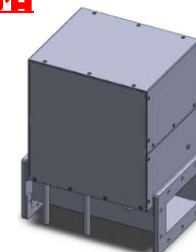
マイクロ波電源

新たな収益の柱
新製品開発

コンポーネントでの販路開拓



アイソレーター一体型発振器



オートチューナー

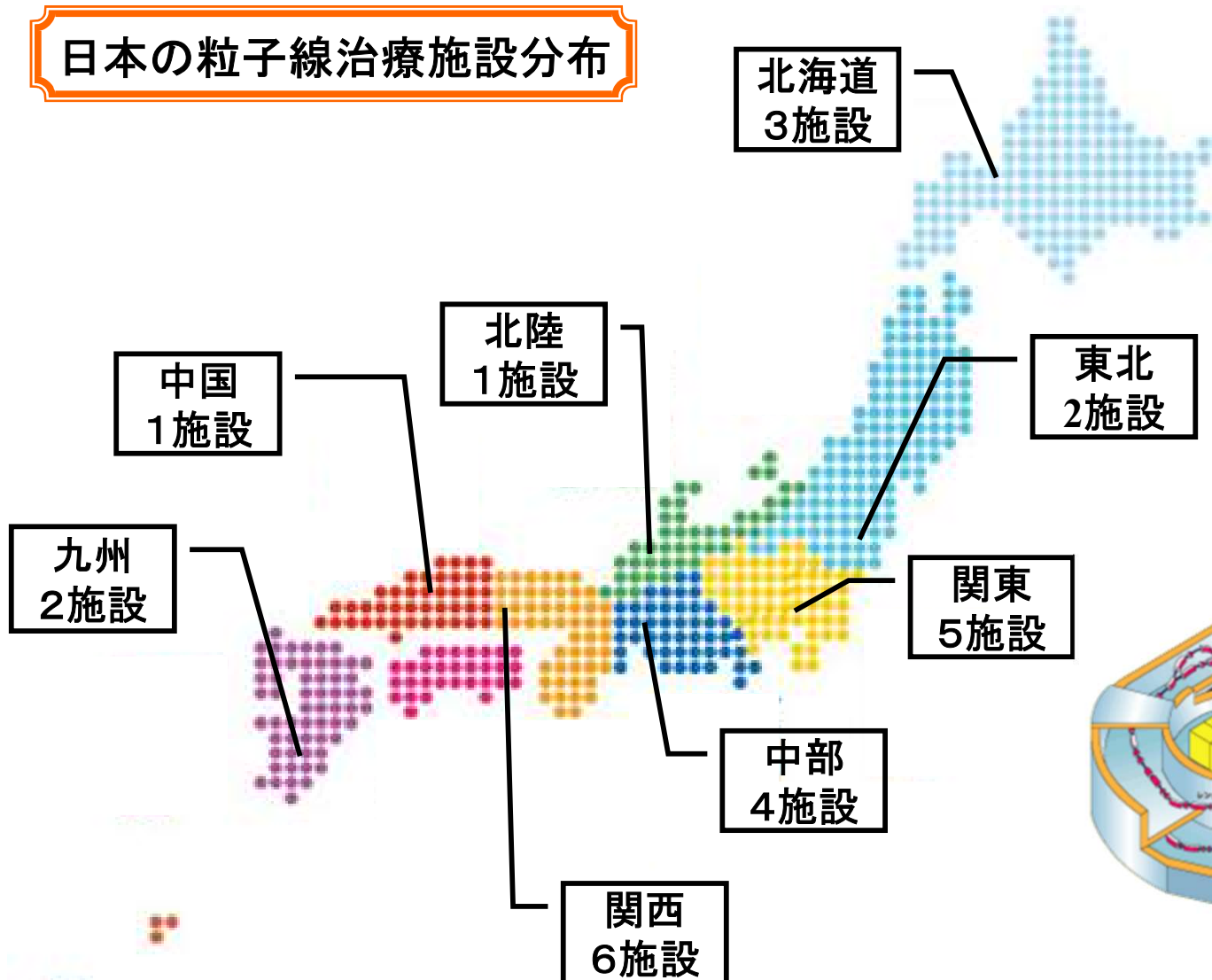
（開発中）

製品特長

1. プラズマプロセスシステム用装置に対応

今後の経営戦略

日本の粒子線治療施設分布



粒子線がん治療施設は24ヵ所

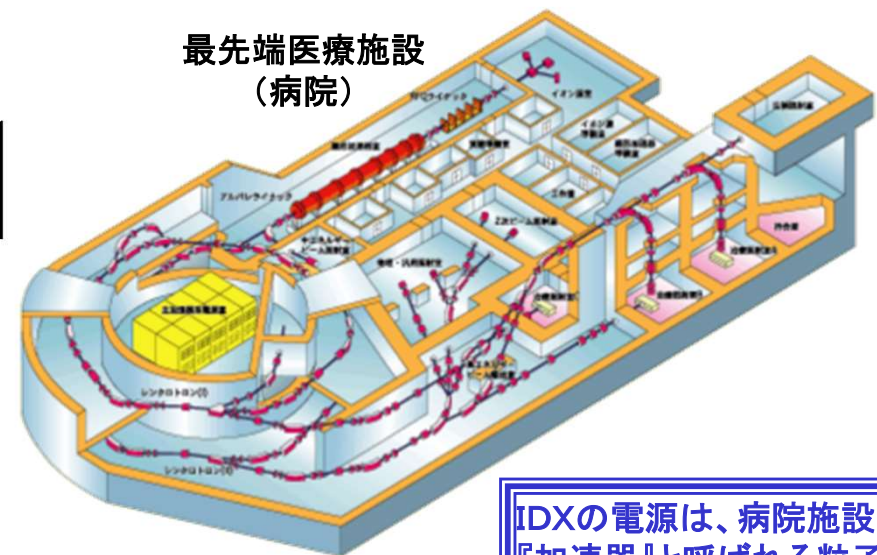
- ・ 重粒子線 : 6ヵ所
- ・ 陽子線 : 17ヵ所
- ・ 両方^{重粒子線}_{陽子線} : 1ヵ所

(2020年2月現在)

※上記施設数は、当社調査によるもの。

※多くの施設でIDXの電源使用

将来的には各県庁所在地に1施設構想



IDXの電源は、病院施設内の『加速器』と呼ばれる粒子エネルギーを蓄積させるための装置に使用されています。

アドテックグループ・海外代理店



Adtec Europe Ltd.
イギリス



愛笛科技有限公司
台湾



Hana Technology
韓国



Adtec Technology, Inc.
アメリカ



蘇州啐啄電子有限公司
中国



株式会社IDX
栃木県



Phuc Son Technology
ベトナム



株式会社アドテックプラズマテクノロジー
(本社)
広島県



東京テクニカルセンター
神奈川県

海外代理店

シンガポール: Odyssey
中国: ATEK
台湾: ATEK
台湾: NFORT

【当資料取扱い上の注意点】

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されているという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。